

平成 19 年 9 月 25 日

各 位

シミック株式会社

health クリックで COPD に関する意識調査を実施

～喫煙者の疾患認知率が低いという結果に～

当社の子会社である株式会社ヘルスクリック(代表取締役:清水昭、本社:東京都品川区、以下ヘルスクリック)は、同社が運営する健康ポータルサイト『health クリック』(<http://www.health.ne.jp/>)にて、COPD(慢性閉塞性肺疾患)*に関する意識調査を実施しましたので、その結果をお知らせいたします。

記

『health クリック』は、生活習慣病をはじめとした様々な疾患の予防を目的として、健康一般情報及び疾患に関する情報を提供する、日本で最大級の健康ポータルサイトです(月間 1,100 万ページビュー、ユニークユーザー数 140 万人)。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)*は、世界の死因第 4 位※、日本人男性の死因第 7 位※※にランキングされている疾患であるにもかかわらず、一般消費者の間では十分に認知されていないのが現状です。そこでヘルスクリックでは、その実態を把握すべく『health クリック』上で COPD に関する意識調査を行い、392 名から回答を得ましたので報告いたします。

なお、アンケート回答結果の詳細は、本日より『health クリック』で公開中です。

(<http://www.health.ne.jp/bknumber/20070951.html>)

※WHO 調査

※※厚生労働省「平成 17 年人口動態統計」

*COPD(慢性閉塞性肺疾患)

おもに長期間の喫煙が原因となって肺機能が衰え、呼吸困難などの発作が見られる病気です。気管支拡張薬などで症状は改善しますが、根本的な治療法はなく、気道の感染などをきっかけに呼吸不全をおこして命の危険を招く恐れもあります。

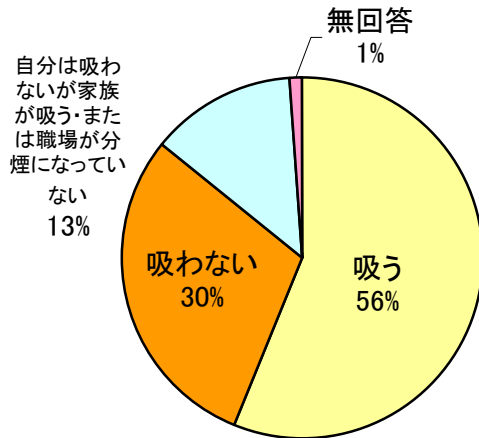
実施期間：2007 年 8 月 13 日～2007 年 9 月 9 日

回答者数：392 人

性 別：男性：166 人／女性：155 人／無回答：71 人

年 代：20 代：63 人／30 代：94 人／40 代：83 人／50 代：49 人／60 代：26 人／
70 代：6 人／80 代：2 人／無回答：69 人

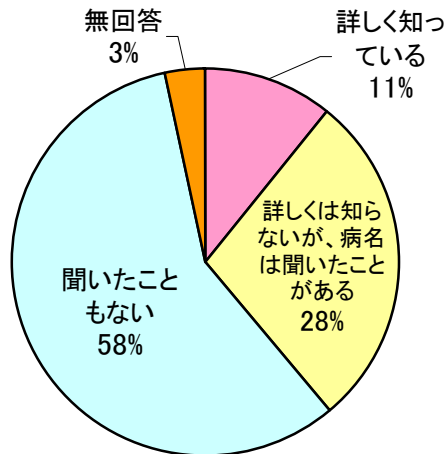
■喫煙者、20代で62%～若い世代ほど高い喫煙率に



回答者における喫煙率は392人中220人で、56%という結果となった。

男女別では男性58%、女性47%で、厚生労働省の国民栄養調査結果における喫煙率（男性43%、女性12%）にくらべ高い傾向にある。年代別では20代62%、30代55%、40代52%、50代51%、60代39%、70代33%、80代0%と、若い世代ほど高い喫煙率となっている。

■COPDの認知率は約4割～非喫煙者より、喫煙者の方が認知されず



COPDの認知率は、「詳しく知っている」「病名を聞いたことがある」をあわせて392人中152人（39%）。「非喫煙者」のCOPD認知率は49%、「家族が吸う、または職場が分煙になっていない非喫煙者」は49%、「喫煙者」は31%と、たばこを吸う人の方が認知率が低いという結果となった。

■おもな呼吸器系疾患の中でも、もっとも低い認知率に

COPD	152 人
肺結核	316 人
気管支喘息	316 人
肺気腫	301 人
慢性気管支炎	292 人
肺水腫	197 人
中皮腫	155 人

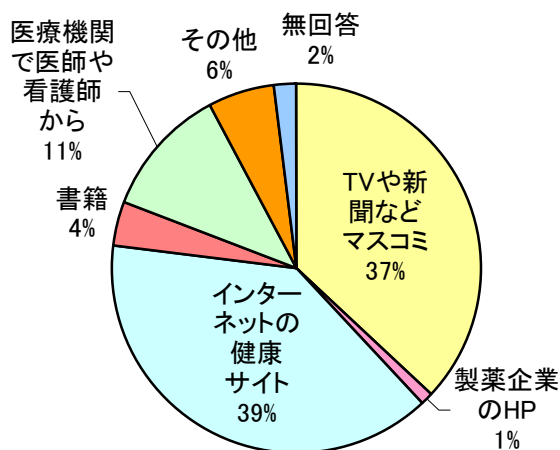
COPD と同じ呼吸器系の疾患についての認知率を調べたところ、同数 1 位「肺結核（316 人）」「気管支喘息（316 人）」、3 位「肺気腫（301 人）」、4 位「慢性気管支炎（292 人）」、5 位「肺水腫（197 人）」、6 位「中皮腫（155 人）」という結果となった。前出の結果を重ね合わせると、呼吸器系の疾患の中では COPD の認知率がもっとも低いことが分かる。

■知らない病気でも、具体的な情報を求める声

原因が気になる	262 人
治療法（薬剤）があるか気になる	230 人
自分が将来、かかるかどうか気になる	177 人
死亡率が気になる	122 人
友人や家族と話をする	49 人
自分が関係なければ、特に気にならない	39 人

知らない病名を聞いてどう思うかたずねたところ、1 位「原因が気になる（262 人）」、2 位「治療法（薬剤）があるか気になる（230 人）」、3 位「自分が将来、かかるかどうか気になる（177 人）」、4 位「死亡率が気になる（122 人）」、5 位「友人や家族と話をする（49 人）」、6 位「自分が関係なければ、特に気にならない（39 人）」という結果となった。昨今の健康ブームもあってか、はじめて聞く病名についても関心が高く、具体的な情報が求められていることが分かる。

■ COPD に関する情報を得たのは、インターネットからが最多



COPD という病名を知っている人に対し、情報の入手経路を聞いたところ、1 位が「インターネットの健康サイト（39%）」、2 位「TV や新聞などマスコミ（37%）」、3 位「医療機関（11%）」という結果となった。「非喫煙者」「家族が吸う、または職場が分煙になっていない非喫煙者」「喫煙者」間での大きな差は見られず、医学・健康情報の普及にインターネットが大きな役割を果たしていることが分かる。

今回の調査から、COPD に関する認知率は現状低いという結果が得られた。しかし、一般消費者はこのような知らない病気についても高い関心を寄せており、より具体的な情報が求められていることが分かった。また、COPD に関する情報の入手経路についてはインターネットからが最も多く、医学・健康情報の普及にインターネットが大きな役割を果たしていることが分かる。

今後も『health クリック』では引き続き、健康を追求する一般消費者の皆様には正しい情報・知識を普及させるべく、健康関連産業が有する優良なヘルスケアコンテンツを集約し、ユーザの役に立つ幅広いコンテンツメニューを取り揃えてまいります。

以 上

【本件に関するお問合せ】

シミック株式会社 経営統括部 IR/広報グループ 03-5745-7035

【「COPD に関する意識調査」に関するお問い合わせ】

株式会社ヘルスクリック 担当 八木・三上 03-5745-6505

【シミック株式会社】



日本初のCRO(医薬品開発受託機関)として、モニタリングやデータマネージメント業務、被験者募集や臨床試験コーディネーター業務等、医薬品開発の周辺業務の支援を行ってまいりました。開発から製造、販売まで、製薬企業の医薬品事業をフルサポートする体制を整え、PVC (Pharmaceutical Value Creator)として製薬企業の価値最大化に取り組んでいます。また、日本だけではなくアジア(中国・韓国・シンガポール・台湾)、ブラジルに拠点を構え、幅広く業務を展開しています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.cmic.co.jp/>

【株式会社ヘルスクリック】



株式会社NTTデータとの合弁会社として平成15年6月に設立しました。主に、疾病啓発活動(特に「healthクリック」を用いた活動)、疾患に関する意識調査/行動変容調査、病診連携支援システム「連携くん®」の販売・開発、臨床試験の被験者募集業務、24時間健康コールセンターの運営等を行っています。平成19年4月、PCN株式会社から株式会社ヘルスクリックへ商号変更しました。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.healthclick.co.jp/>
